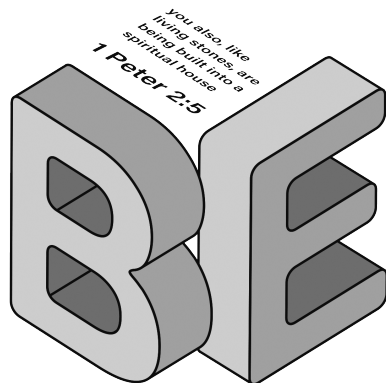


YOUTH MANNA



あなたがた自身も生ける石として霊の家に築き上げられ、神に喜ばれる霊のいけにえをイエス・キリストを通して献げる、聖なる祭司となります。

(ペテロの手紙第一 2章42節)

2025/6/9(月)

Ⅰ列王記 4:20-34

●ソロモン治世の繁栄について見てこう。ソロモンの治世は、どんな時代だったといえるかな？(24-27)

●神様は、ソロモンにどんな賜物を与えられたかな？(29-34)

●君には、どんな賜物が神様から与えられているかな？それをどのように管理、磨いていくことができるか考えてみよう。また、実践してみよう！

🌟それぞれが賜物を受けているのですから、神の恵みの様々な良い管理者として、その賜物を用いて互いに仕え合いなさい。(1ペテロ4:10)

2025/6/10(火)

Ⅰ列王記 5章

●ソロモンが神殿を建てるのは何のためだった？彼が大切なこととして覚えていたことは何だっただろうか？(5)

●神殿建設のためには、自分たちが用意したものだけでなく、他の国から材料を買う必要があった。ここではダビデの時代から続いていたツロの王ヒラムとの友情が用いられ、ヒラムはソロモンの申し出を聞いて、主をほめたたえているね。

・神様を信じていない人たちとの関係の間にも神様が働いてくださることを期待して祈るようにしよう！

・教会の中だけでなく、外でも神様がほめたたえられるために、自分がどうあるべきかを考えてみよう！

2025/6/11(水)

Ⅰ列王記 6:1-13

ソロモンが神殿の建築に取り掛かったとき、神様はソロモンに語られた。12,13節を読んでその内容について考えてみよう。

●神様が大切にしていることはどんなことだろう？建物の素晴らしさだろうか？それとも私たちの歩み方だろうか？

●神様が約束していることはどんなことだろうか？

●神様が君と共にいてくださることを意味の大きさをもっと知ることができるように祈ろう！そして普段の日常生活の中で、神様を愛して歩むという事がどのように表されるべきかについて具体的に考えてみよう！

2025/6/12(木)

Ⅰ列王記 6:14-38

●ソロモンが作った神殿の内殿はどれぐらいの大きさだったかな？20節

●ケルビムは合計何体置かれたかな？29節

●ソロモンはそれら全部を何でおおったかな？30節

●ソロモンは出来る限りのことをして神様に最高のものを捧げたよ。当時のイスラエルでは高級だった木材やこだわった内装、金、ケルビムの像など。ソロモンはそれがいいと思って、ダビデから引き継いで作ったけど、神様は本当に欲しかったのかな？みんなは今の教会に神様が望んでいる事はなんだと思う？考えてみよう！

2025/6/13(金)

Ⅰ列王記 7:1-12

神殿に続き、ソロモンは宮殿を建てるよ

●何年かけて宮殿は建設されたかな？なぜそれぐらいの時間がかかったと思う？

●神殿にはどんな材料が使われていたかな？10-11v

●宮殿建設は壮大で最高の技術と材料が使われたよ。そらはソロモンにとって神様の偉大さを表現することだったと思う。きみならどうやって神様の偉大さを表す？またGCの新会堂を建てるならどんな会堂にしたい？

2025/6/14(土)

Ⅰ列王記 7:13-37

ソロモンは神殿の装飾品などをつくるために、ツロという国からヒラムという青銅の細工をする職人を呼んできた。

彼は偶像礼拝がいっぱいある地域で職人としての経験をたくさん積んでいて人だったけど、その技術が神様の神殿で用いられることってなんだか不思議だね。

神殿に飾るものや実際に使うものは、一つ一つ細かく作られて飾りの意味があったり、実際に使うための工夫がされていたりしたんだ。そんな労力をかけるほど、神様は偉大なお方なんだ。

私たちも礼拝に行く時に、神様の偉大さを覚えて、自分をささげる気持ちを持っていこう！

2025/6/15(日)

Ⅰ列王記 7:38-51

ヒラムは神殿のために、洗盤や灰壺、鉢など多くの器具を作りました。これらは高度な蝨型鑄造という技術で精巧に仕上げられ、礼拝に用いられました。神殿の建物や備品は壮麗で、地上で神様の栄光を現すために用いられましたが、最終的にはバビロンによって破壊されます。列王記の記者は、それらが信仰の本質ではないことを理解した上で記録しています。

祈り

神殿とそこに収められた数々の備品は、あなたの臨在と栄光を証しするものでした。地上のものが崩されても、あなたは永遠に変わることはない神です。